

地域高規格道路 都城志布志道路

Miyakonojo-Shibushi Road

南九州圏域の命と暮らしを守る道



■都城志布志道路完成イメージ（都城ICから志布志方面を望む）

都城志布志道路建設促進協議会

●宮崎県都城市 ●鹿児島県曾於市 ●鹿児島県志布志市

都城志布志道路

南九州圏域の命と暮らしを守る



五十町 IC から平塚 IC 方面を望む



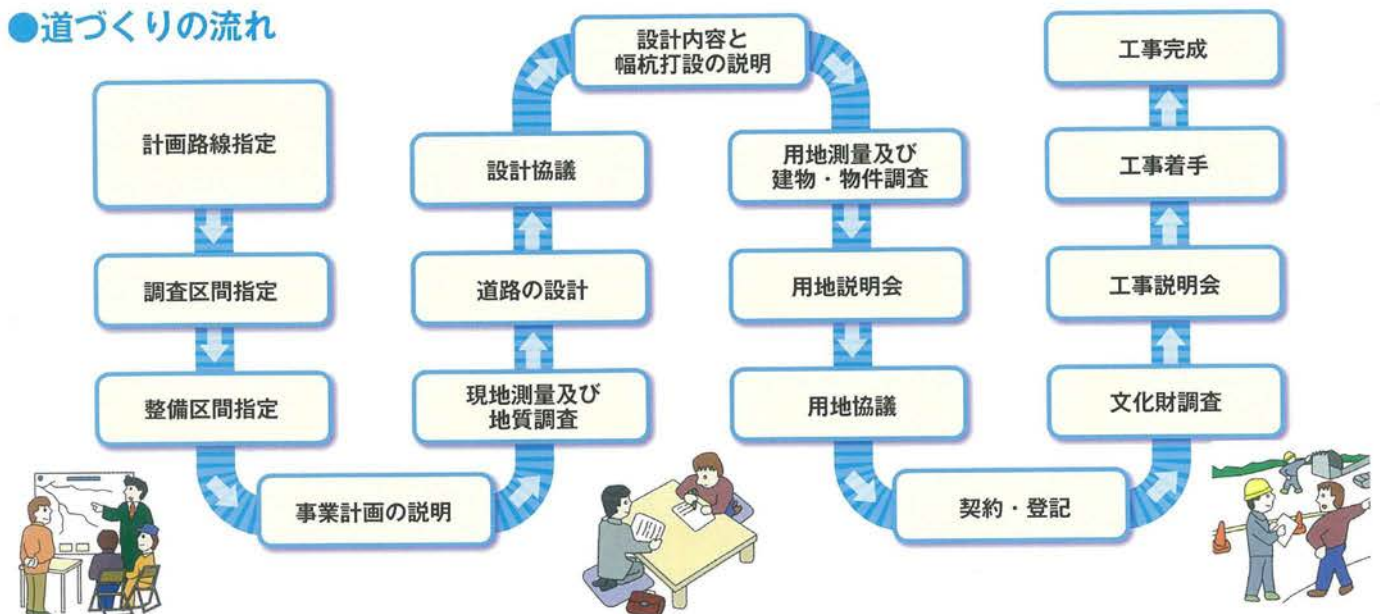
松山 IC から末吉 IC 方面を望む



整備区間を走行するパルク車（ばら積み貨物車）



●道づくりの流れ





都城IC

南横市IC(仮称)

Miyakonojo-Shibushi Road

地域高規格道路

都城志布志道路

地域高規格道路「都城志布志道路」は、都城市を起点に鹿児島県曾於市を經由して志布志市に至る、延長約44kmの自動車専用道路です。この道路は、九州縦貫自動車道宮崎線（都城IC）や東九州自動車道（志布志IC（仮称））と接続して広域交流ネットワークを形成し、圏域の均衡ある発展を担うとともに、「防災」「経済」「医療」対策機能の強化に特に効果があると期待されています。

■地域高規格道路

地域高規格道路とは、九州縦貫自動車道や東九州自動車道などの高規格幹線道路と一体となって地域相互の交流促進を図るとともに、空港・港湾等を結び物流の効率化等に寄与する自動車専用道路です。

平塚 IC から都城 IC 方面を望む

防災の道

南海トラフ巨大地震や異常気象による豪雨災害等が発生した場合は、太平洋沿岸地域は甚大な被害が想定されています。人的・物的支援を行うために、太平洋沿岸地域・志布志港と後方支援都市である都城市を結ぶ『防災対策機能の強化』を図る路線としての効果が期待されています。

■南海トラフ巨大地震の沿岸部への影響とバックアップ拠点



■国道10号

（都城市大岩田町）都城市の大動脈である国道10号は、台風や集中豪雨等の大雨で冠水し、通行止めになることがあります。大規模災害時に、その代替機能を保持するためにも都城志布志道路の早期全線開通が必要です。

■南海トラフ巨大地震の被害想定

	宮崎県	鹿児島県
死者数 （最大値）	4.2万人	1,200人
全壊棟数 （最大値）	8.3万棟	5,900棟
直接被害額 （最大値）	4.8兆円	0.7兆円
避難者 （1週間後の最大人数）	35万人	2.9万人
電力 （発生直後停電軒数）	53万軒	1,100軒
上水道 （発生直後断水人口）	95万人	7.7万人

内閣府：平成24年8月、平成25年3月「南海トラフ巨大地震の被害想定について」

経済の道

六次産業化の推進、輸送コストの縮減や飼料の安定供給による農林畜産業の活性化、企業誘致や新たな雇用創出等に大きく寄与し、本地域の経済発展に資する『経済対策機能の強化』に効果があると期待されています。

■志布志港からの配合飼料の輸送状況



都城・曾於地域は、日本有数の畜産産出額を誇る食糧供給基地です。『国際バルク戦略港湾』である志布志港で取り扱っている配合飼料の5割以上を都城・曾於地域に運んでいます。

■畜産の産出額（全国上位5位）



資料：生産農業所得統計（平成18年）



志布志港に至る県道は、畜産飼料やコンテナ貨物を運ぶ大型車両の通行が多く、混雑しています。

所要時間の短縮により、物流の効率化が図られます。



医療の道

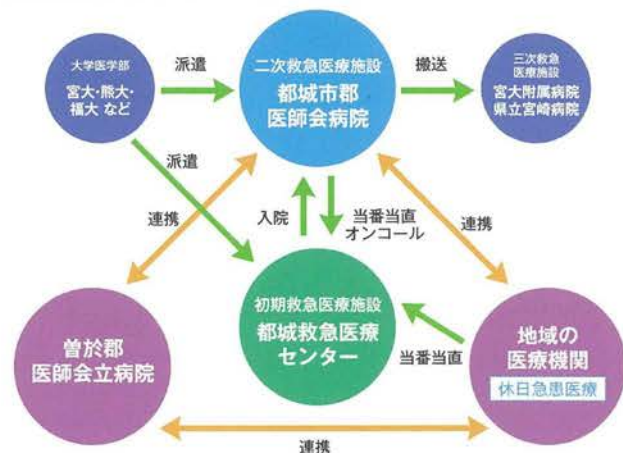
平成27年春には、都城志布志道路と九州縦貫自動車道との結節点である都城ICから至近の距離に都城市郡医師会病院等が移転・開院します。主要な救急医療施設を高速道路網で結ぶことにより都城広域定住自立圏の『医療対策機能の強化』を実現する効果が期待されています。

■主要救急医療施設への来院・搬送状況

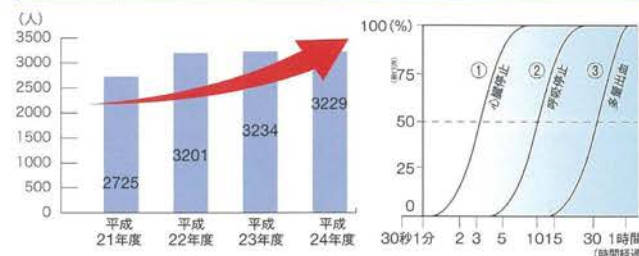


都城市郡医師会病院は、都城広域定住自立圏のみならず広範囲の救急を支える医療拠点です。都城志布志道路の整備により、圏域内のアクセス性が向上するとともに、三次救急医療施設への迅速な救急搬送体制が可能となります。

■総合的なフォローシステム

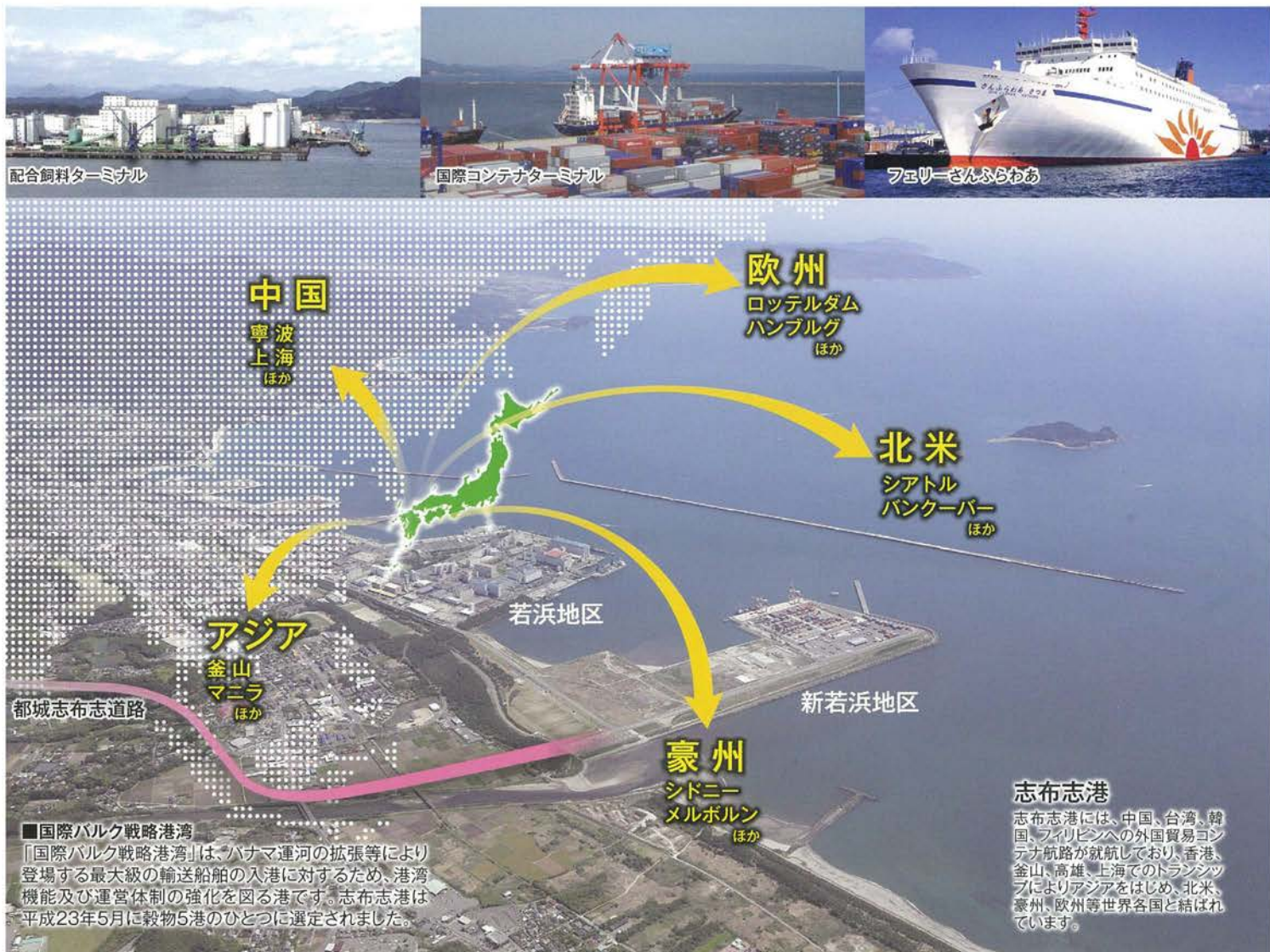


所要時間の短縮により、救急搬送時の生存率が向上します。



都城市郡医師会病院への曾於・志布志、串間・日南からの来院患者数は増加傾向にあります。

①心臓停止後約3分で50%死亡
②呼吸停止後約10分で50%死亡
③多量出血後約30分で50%死亡



■主な取扱品目

海外貿易（輸出）約8.8万トン

- 再利用資源20.6%
- ゴム製品（タイヤ）17.1%
- 原木（杉丸太）10.5%
- その他畜産品（原皮）8.7%

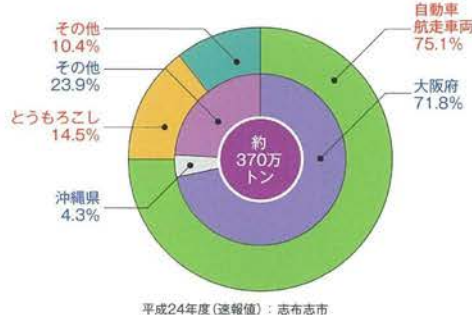
海外貿易（輸入）約350万トン



国内移送（移入）約316万トン

- 自動車航走車両81.5%
- 動植物性製造飼料5.8%
- セメント5.0%
- 砂利・砂1.3%

国内移送（移出）約370万トン



■港湾取扱貨物量



志布志港は、背後に、我が国数々の畜産地帯を控えており、とうもろこし、大豆油等々の飼料原料が輸入され、港湾取扱量は1,000万トン前後を推移しています。また、海外貿易（輸出）コンテナの取扱量は年々増加してきています。

都城市と志布志港44kmを40分でつなぐ地域高規格道路「都城志布志道路」は、南九州圏域の活力ある地域づくりを支えるとともに、災害対策や救急医療を支援する重要な幹線です。その早期全線開通は、圏域住民の積年の悲願であり、当協議会は実現に向けて一丸となって積極的に取り組んでまいります。

平成26年3月作成

お問い合わせ

都城志布志道路建設促進協議会【事務局】都城市土木部都市計画課

〒885-8555 宮崎県都城市姫城町6街区21号 TEL0986-23-2762 E-mail:toshikei@city.miyakonojo.miyazaki.jp